

「アートと地域とまちづくり」 (2023年10月27日@鹿児島大学ラーニング・コモンズ1) 報告 法文学部人文学科多元地域文化コース 准教授 太田 純貴

「地域とアートの相互作用を発掘・検証しその可能性を探究するプロジェクト」の一環として、アートと地域とまちづくり、およびこの三者の関係について多角的に知見を獲得し議論することを目的に、トークイベント「アートと地域とまちづくり」を2023年10月27日(金)(於・鹿児島大学法文学部ラーニングコモンズ1)に開催した。登壇者は、藤浩志氏(美術家、秋田公立美術大学教授)、市村良平氏(株式会社スタジオグッドフラット 代表取締役/企画・プロデューサー)、四元朝子氏(サンカイ・プロダクション合同会社 広報/アートコーディネーター)である。

美術館と観光と経営、それらと連動する常設展やコミッションワークの可能性、街とのチャンネル作りとしての企画展(の重要性)、近代美術館/現代美術館/アートセンターの役割(の違い)、インプット/アウトプットにとどまらないアウトカムという視点、制作者/鑑賞者という二項対立を超える可能性を秘めた活動としての広報やファシリテーターなど、三氏からの話題は多岐に渡った。そのどれもが秋田や鹿児島、京都や東京等における具体的な活動や事例を通して語られ、アートと地域とまちづくりのための視点や問題意識を参加者全員で一定程度以上共有できたように思われる。

三氏の議論は多岐に渡っていたが、アート自体にも批判的な眼差しや一定の距離を保ちつつ、それでもなおアートの重要性をどのように語るのか/語り得るのかということを実践しようとした態度は共通していただろう。それは町おこしや地域おこしのためにアートを使うというような「道具と

してのアート」とは似て非なる態度、と言ってもいいかもしれない。本イベントは、アートへの批判的な態度は保持しつつ、アート自体の可能性や「楽しさ」、楽しさを原動力とすることに臆することなく正面から向き合う機会となったのではないだろうか。

「鹿児島の近現代」教育センター
令和5年度地域マネジメント教育研究プロジェクト

アートと 地域と まちづくり

2023 10.27 FRI 14:30 - 17:40
(途中休憩あり)

一般公開
参加費
無料

登壇者
藤 浩志
美術家

会場
鹿児島大学那覇キャンパス
法文学部2号館1F ラーニング・コモンズ1

市村 良平
株式会社スタジオグッドフラット
代表取締役/企画・プロデューサー

四元 朝子
サンカイ・プロダクション合同会社
広報/アートコーディネーター

コーディネーター
太田 純貴
鹿児島大学法文学部 准教授

※ 駐車スペースには限りがあるので、可能な限り公共交通機関をご利用ください。

申し込み方法
右の二次元コードから事前の申し込みが必要。締切: 10/20(金) 15時まで

